

# 令和2年7月豪雨の概要

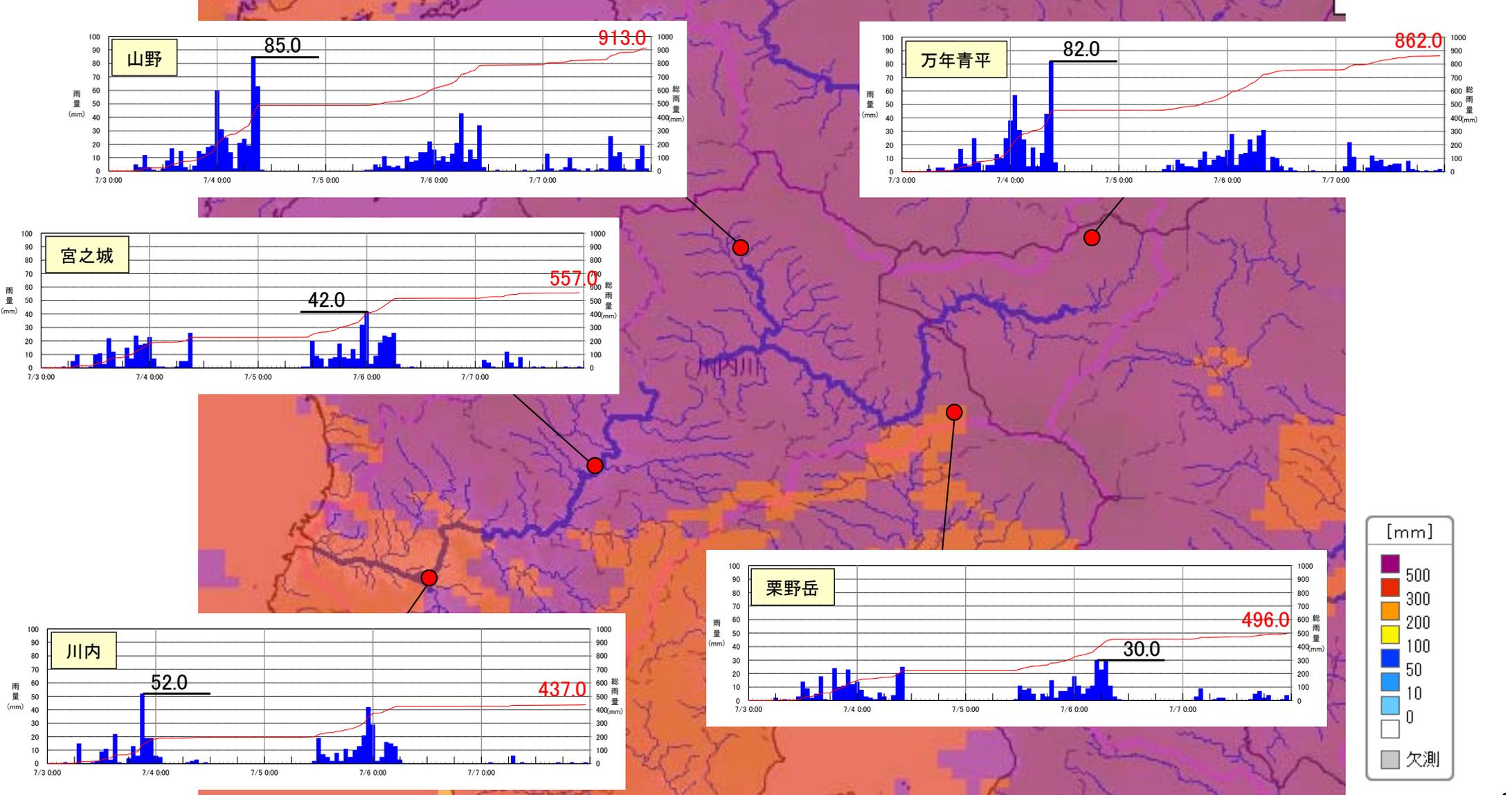
## 速報版

令和2年7月28日  
川内川河川事務所

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

# 1. 降雨の概要（レーダ雨量）

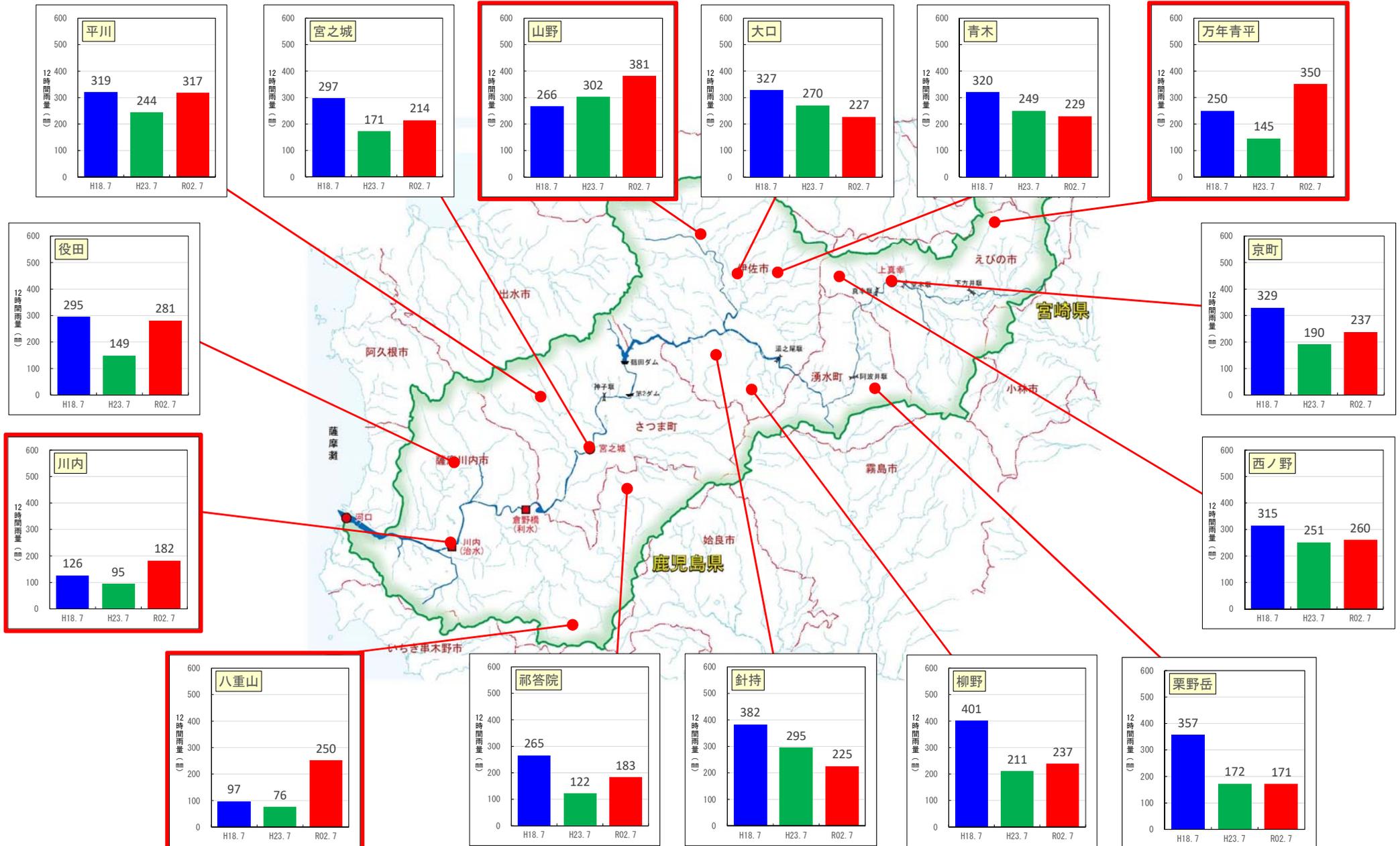
梅雨前線に伴い、7月2日の夕方から降り始めた雨は3日昼前から断続的に激しい雨となり、3日夜には薩摩半島の西海上で発達した雨雲が線状に連なり東進。薩摩、大隅地方を中心に大雨となった。更に、7月5日、九州南部付近にあった梅雨前線がゆっくり九州北部付近まで北上し、5日夜から6日昼前にかけて薩摩地方、大隅地方で局地的に猛烈な雨が降り大雨となった。



※7/3 0:00~7/7 23:00までの累加雨量（国交省Cバンドレーダ雨量）

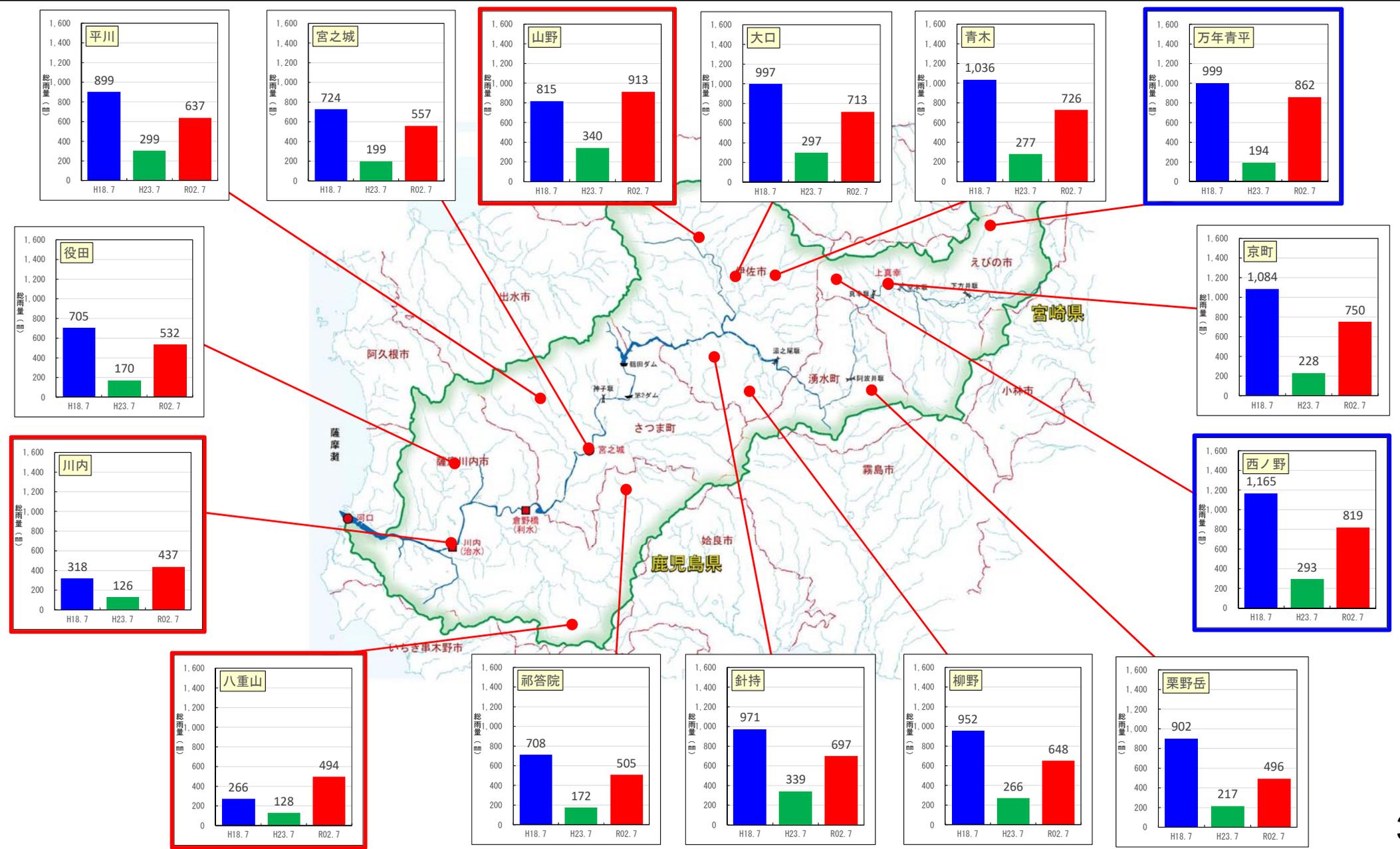
# 1. 降雨の概要（川内川流域の雨量：12時間雨量の比較）

川内川流域では、12時間雨量をみると、川内観測所、八重山観測所、山野観測所及び万年青平観測所において平成18年7月出水、平成23年7月出水を超える雨量を観測した。



# 1. 降雨の概要（川内川流域の雨量：総雨量の比較）

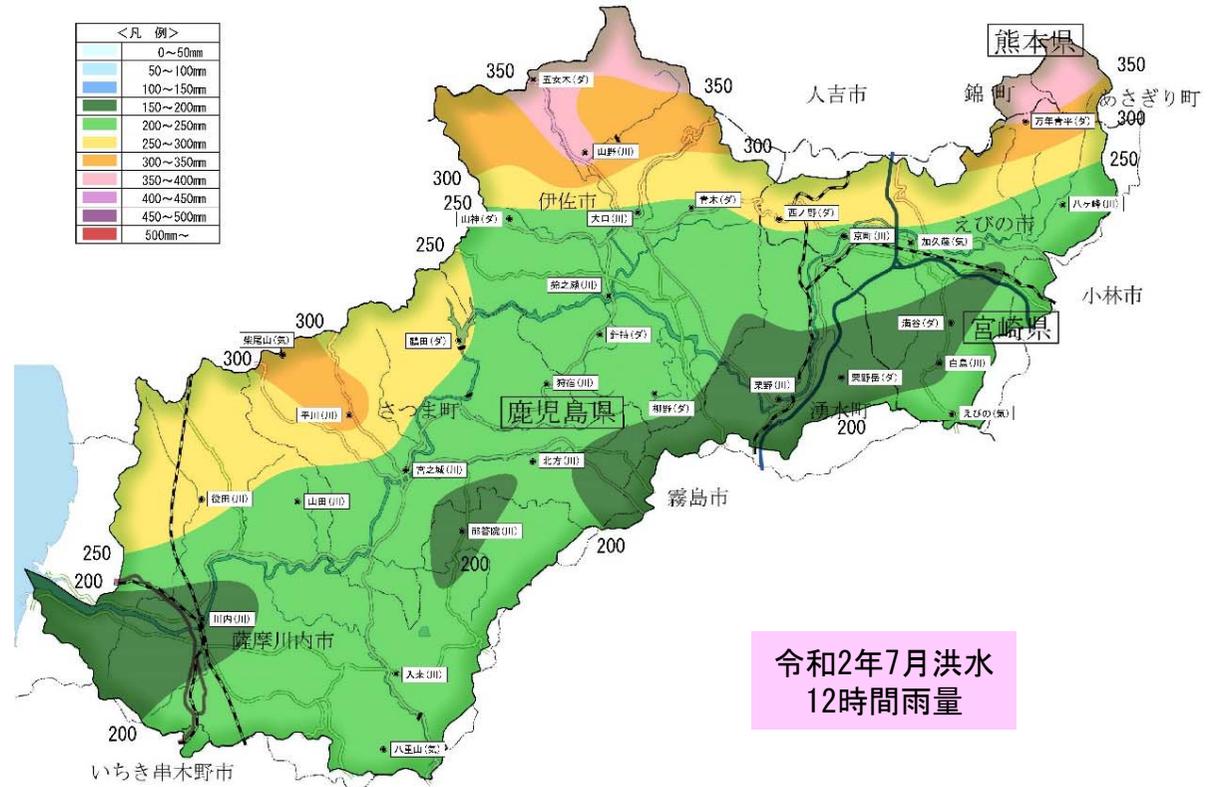
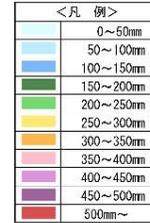
川内川流域の総雨量（7/3～7/7の5日間）としては、川内観測所、八重山観測所及び山野観測所において平成18年7月出水（7/19～7/23の5日間）を超える雨量を観測し、万年青平観測所及び西ノ野観測所では800mmを超える雨量を観測した。



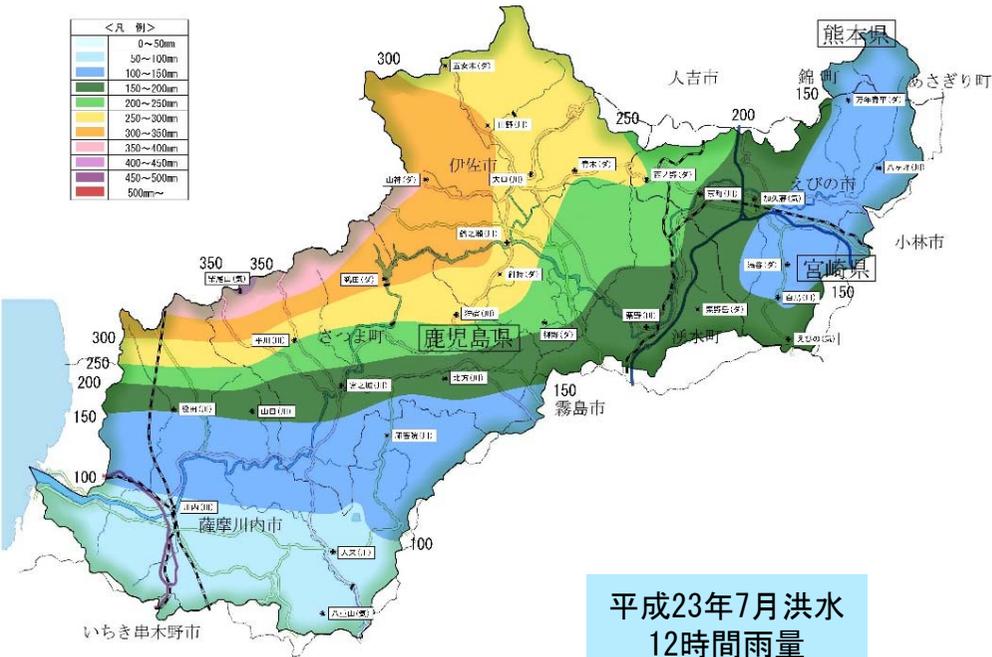
# 1. 降雨の概要（降雨の地域分布：12時間雨量）



平成18年7月洪水  
12時間雨量

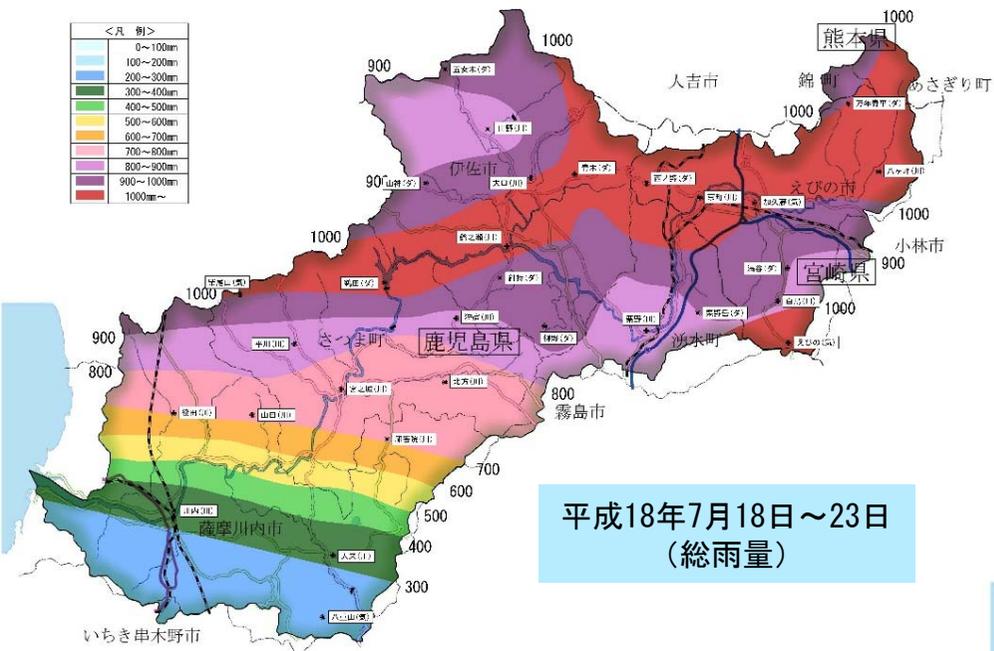


令和2年7月洪水  
12時間雨量

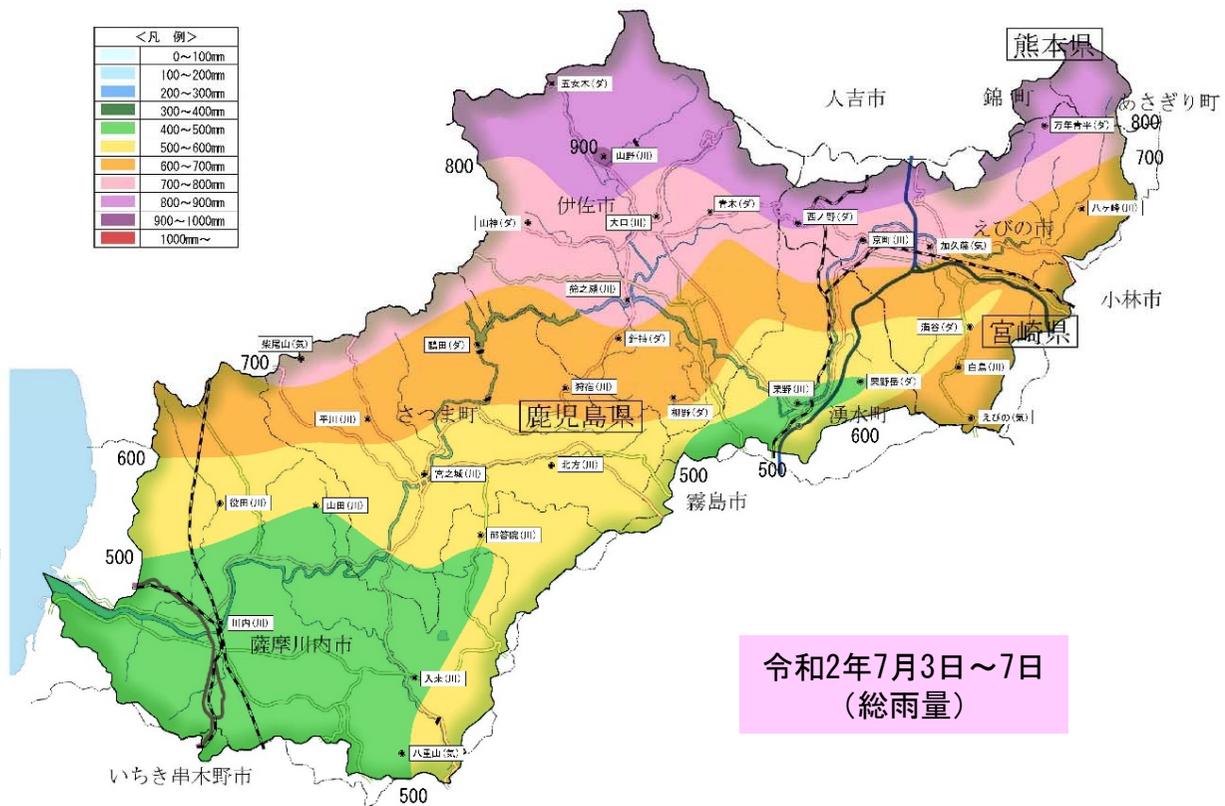


平成23年7月洪水  
12時間雨量

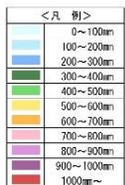
# 1. 降雨の概要（降雨の地域分布：総雨量）



平成18年7月18日～23日  
(総雨量)



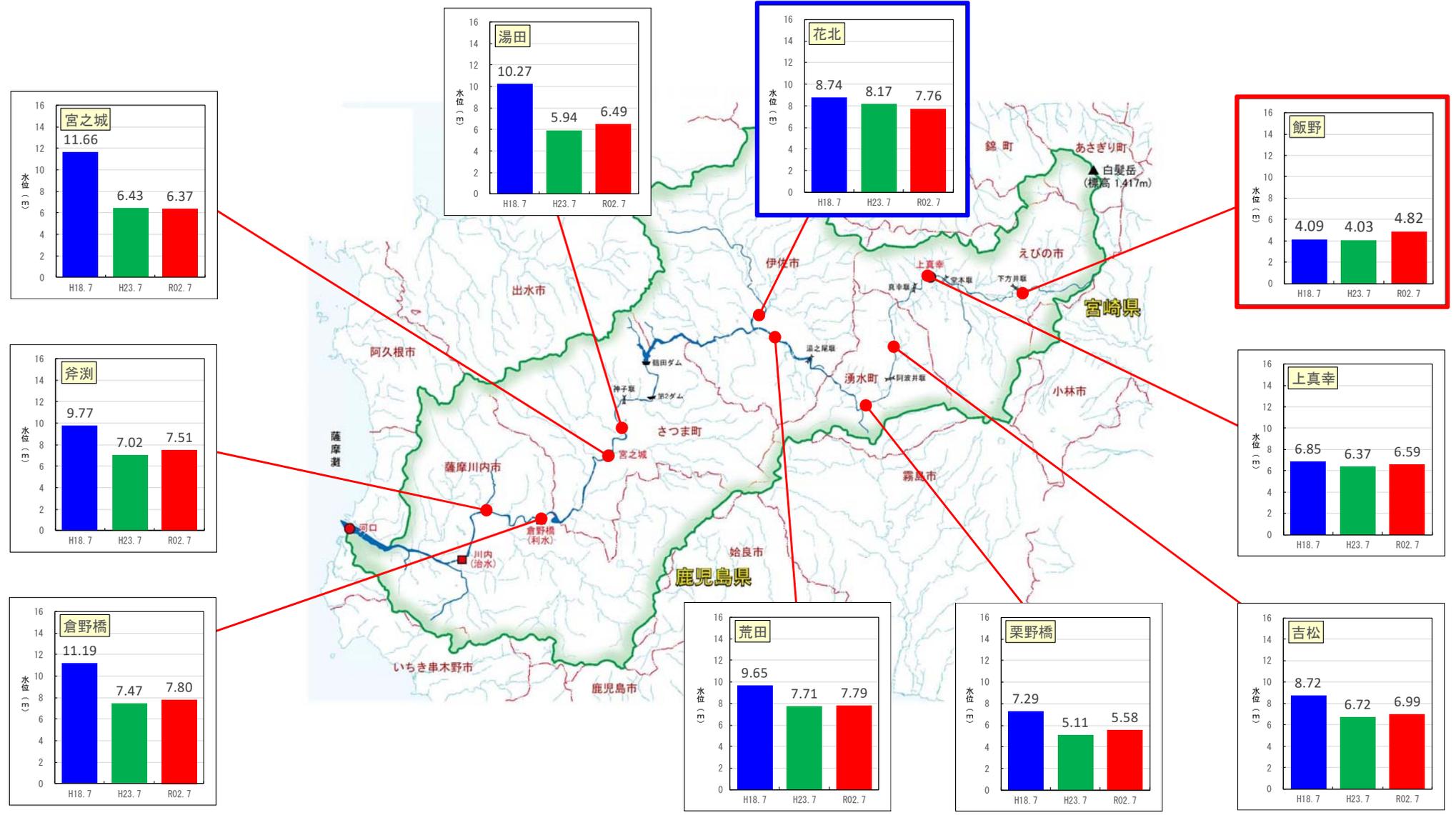
令和2年7月3日～7日  
(総雨量)



平成23年7月4日～6日  
(総雨量)

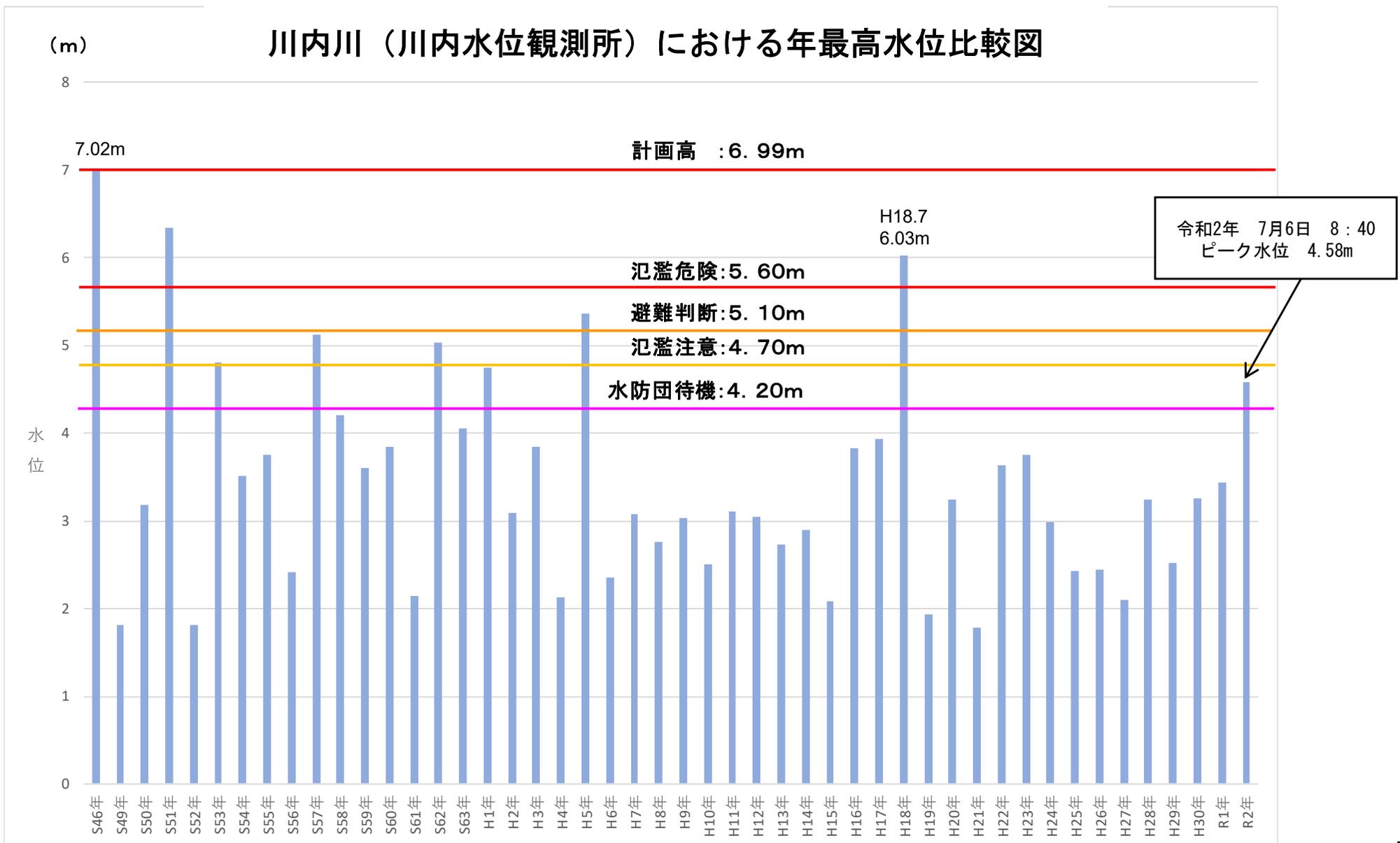
## 2. 水位の概要（川内川流域の水位の比較）

川内川流域の水位観測所においては、飯野観測所において平成18年7月出水を超える水位を観測し、花北観測所では氾濫危険水位を超える水位を観測した。



## 2. 水位の概要（川内川（川内水位観測所））

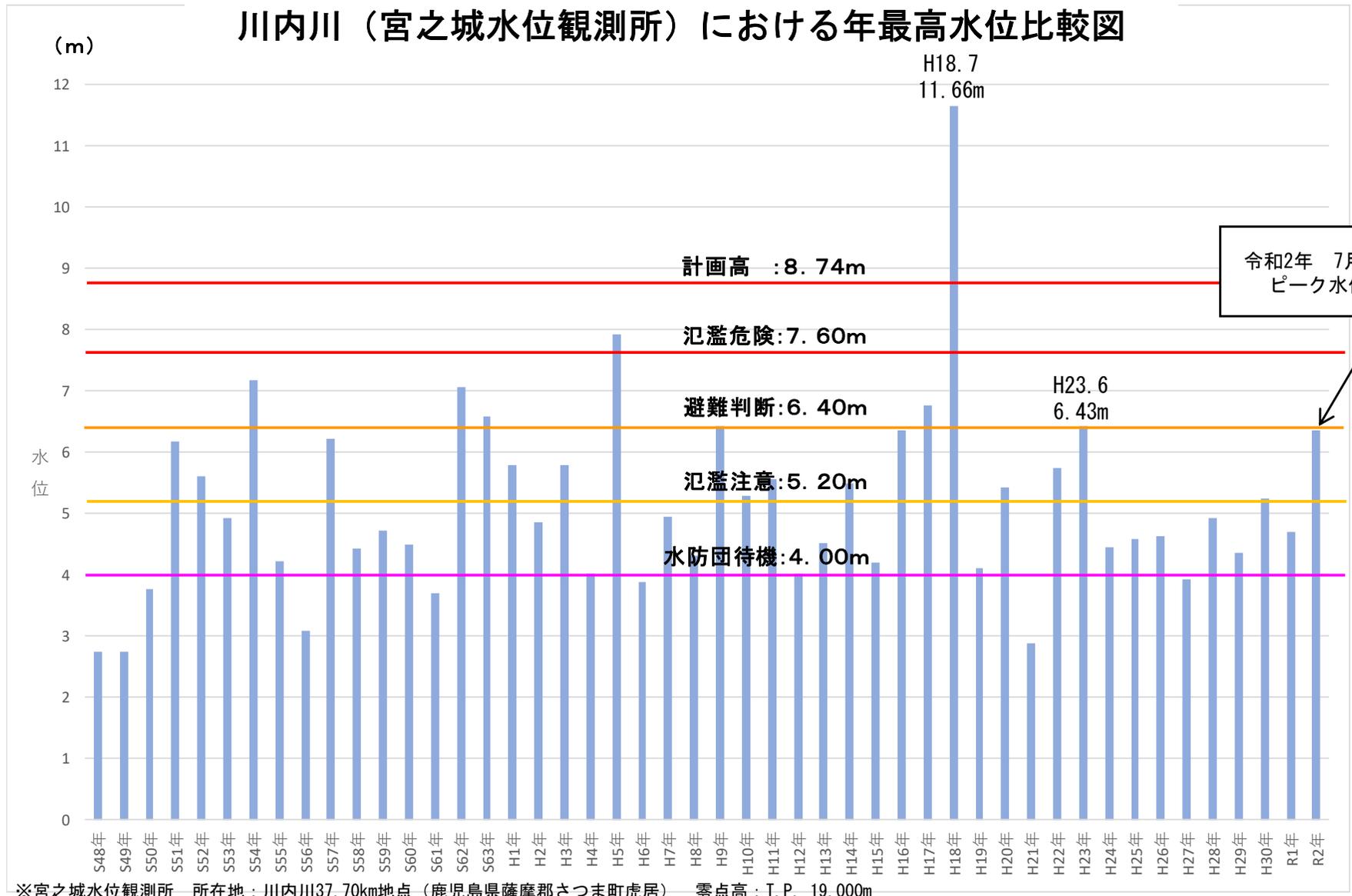
川内川水系川内川の川内（せんだい）水位観測所において、7月6日8時40分に4.58mを記録しました。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 2. 水位の概要（川内川（宮之城水位観測所））

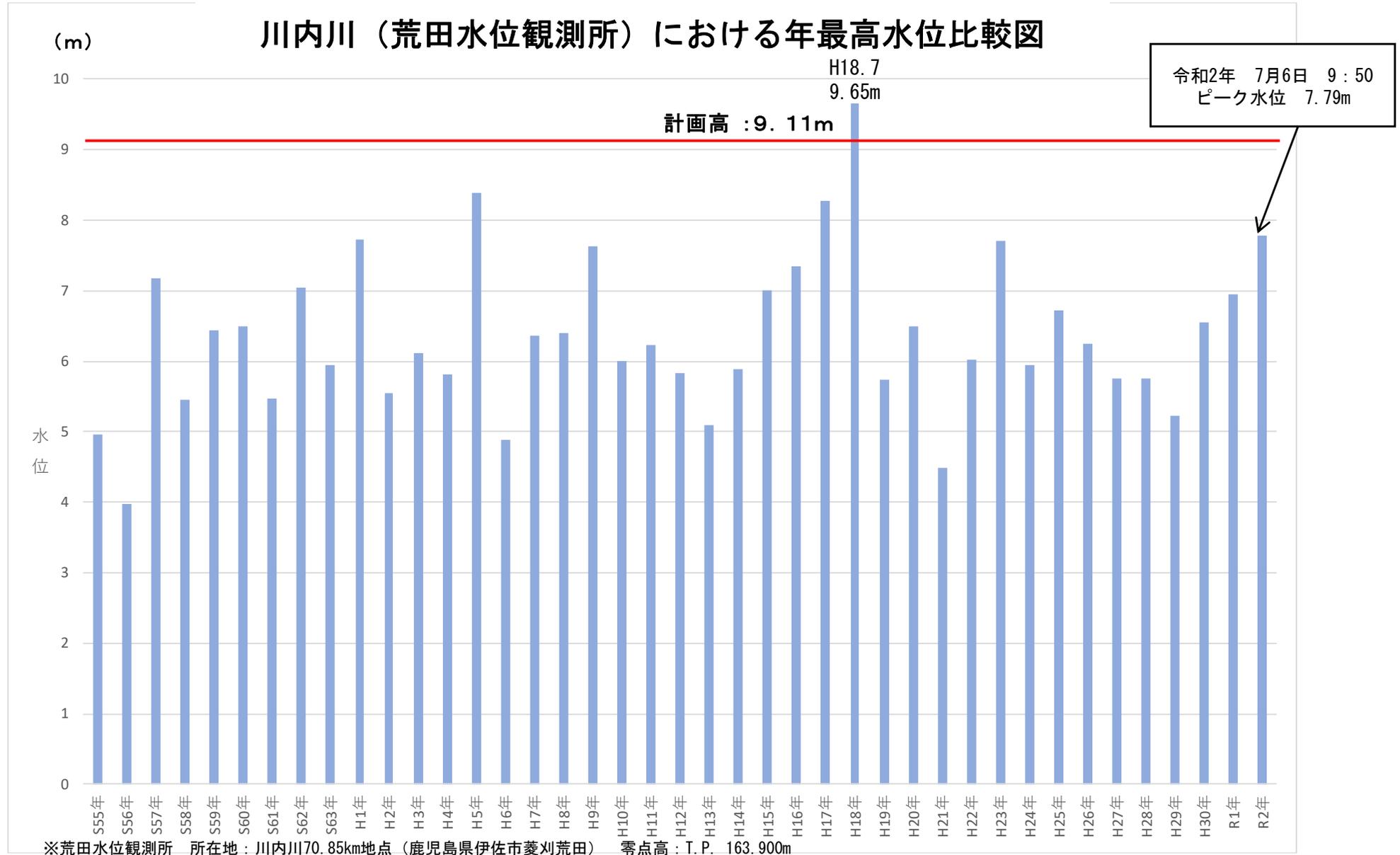
宮之城観測所の年最高水位をみると、今回出水の水位は既往最高水位を観測した平成18年7月洪水以降、平成23年洪水と同等程度の水位を観測。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 2. 水位の概要（川内川（荒田水位観測所））

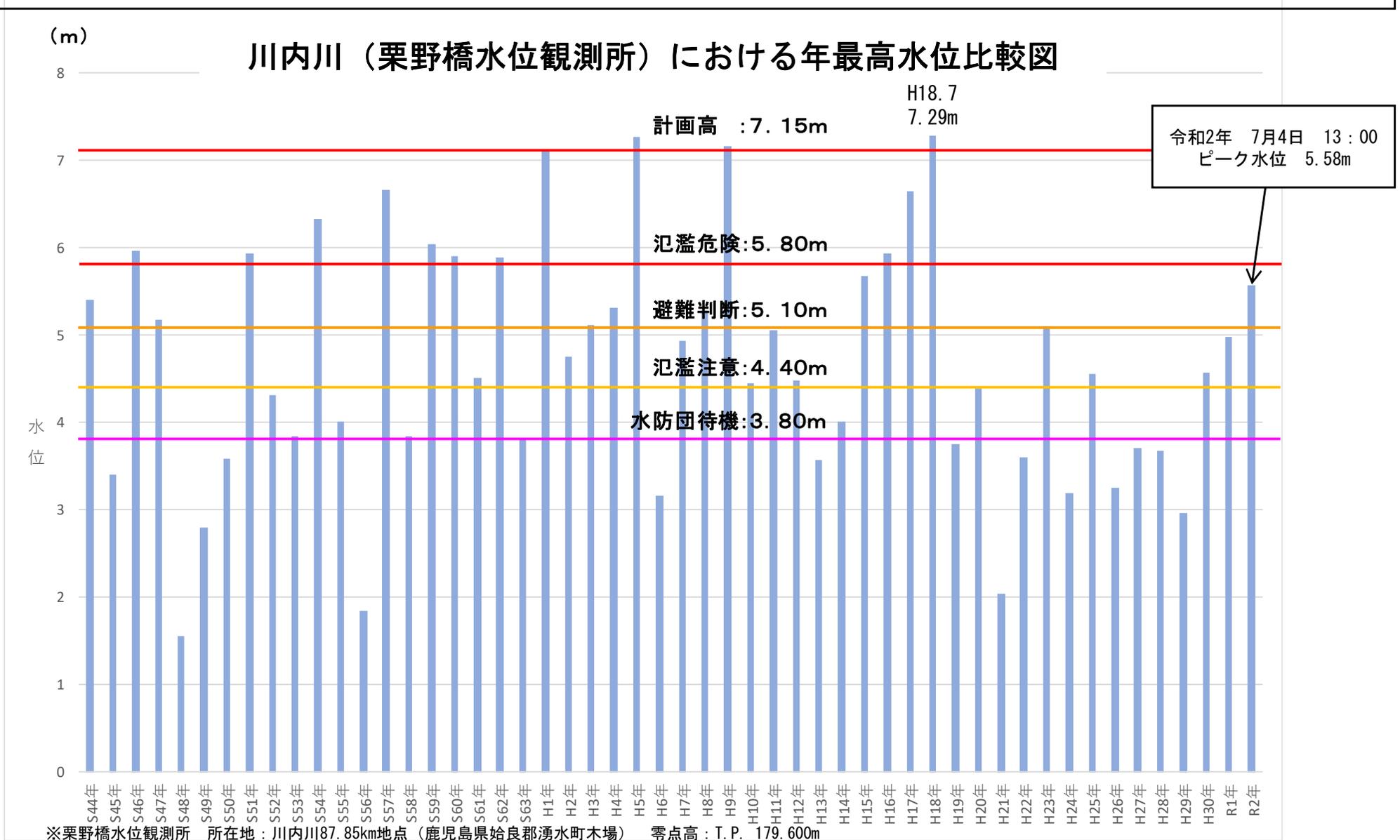
川内川水系川内川の荒田（あらた）水位観測所において、7月6日9時50分に7.79mを記録しました。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 2. 水位の概要（川内川（栗野橋水位観測所））

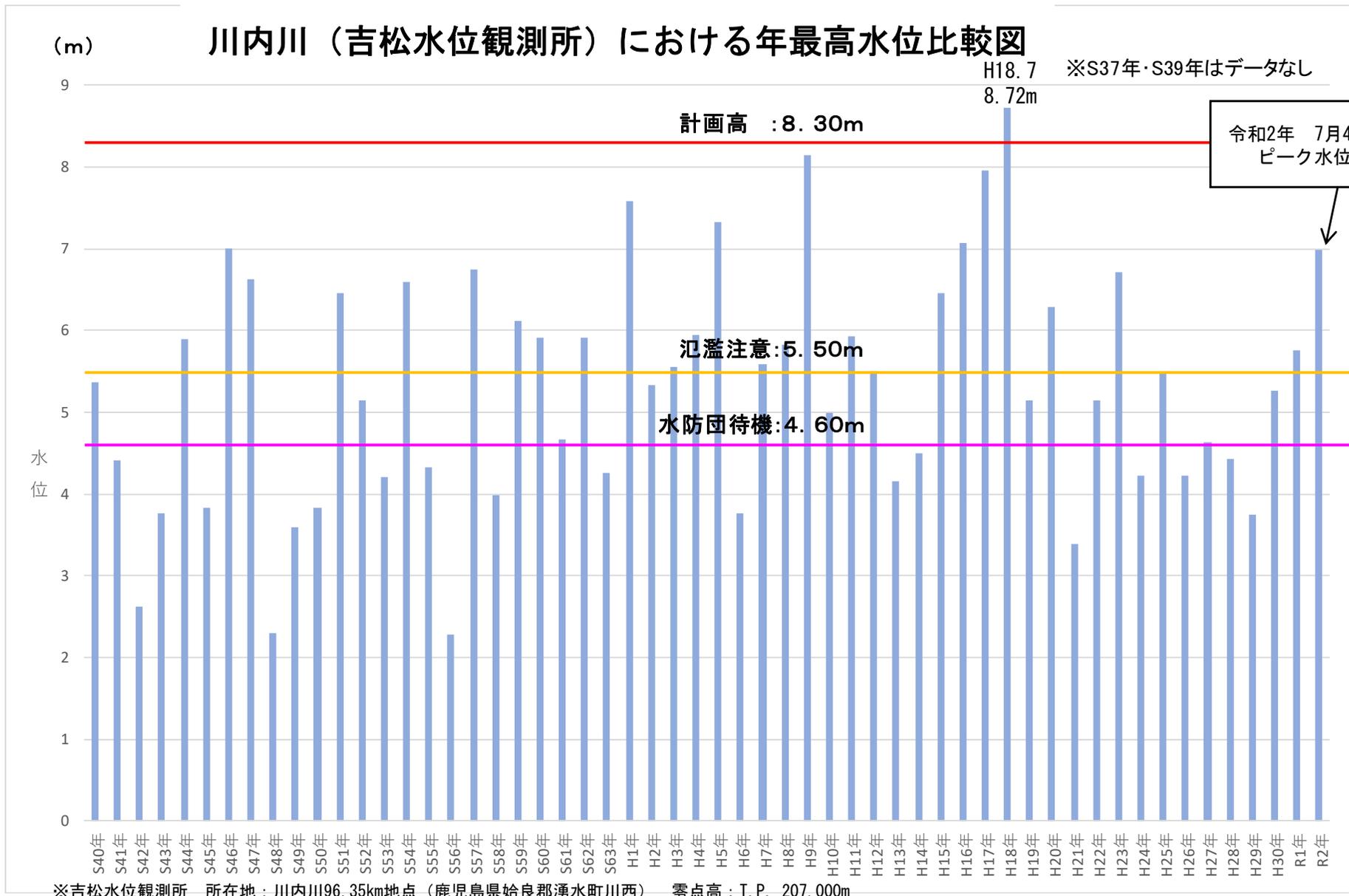
川内川水系川内川の栗野橋（くりのぼし）水位観測所において、7月4日13時00分に5.58mを記録しました。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 2. 水位の概要（川内川（吉松水位観測所））

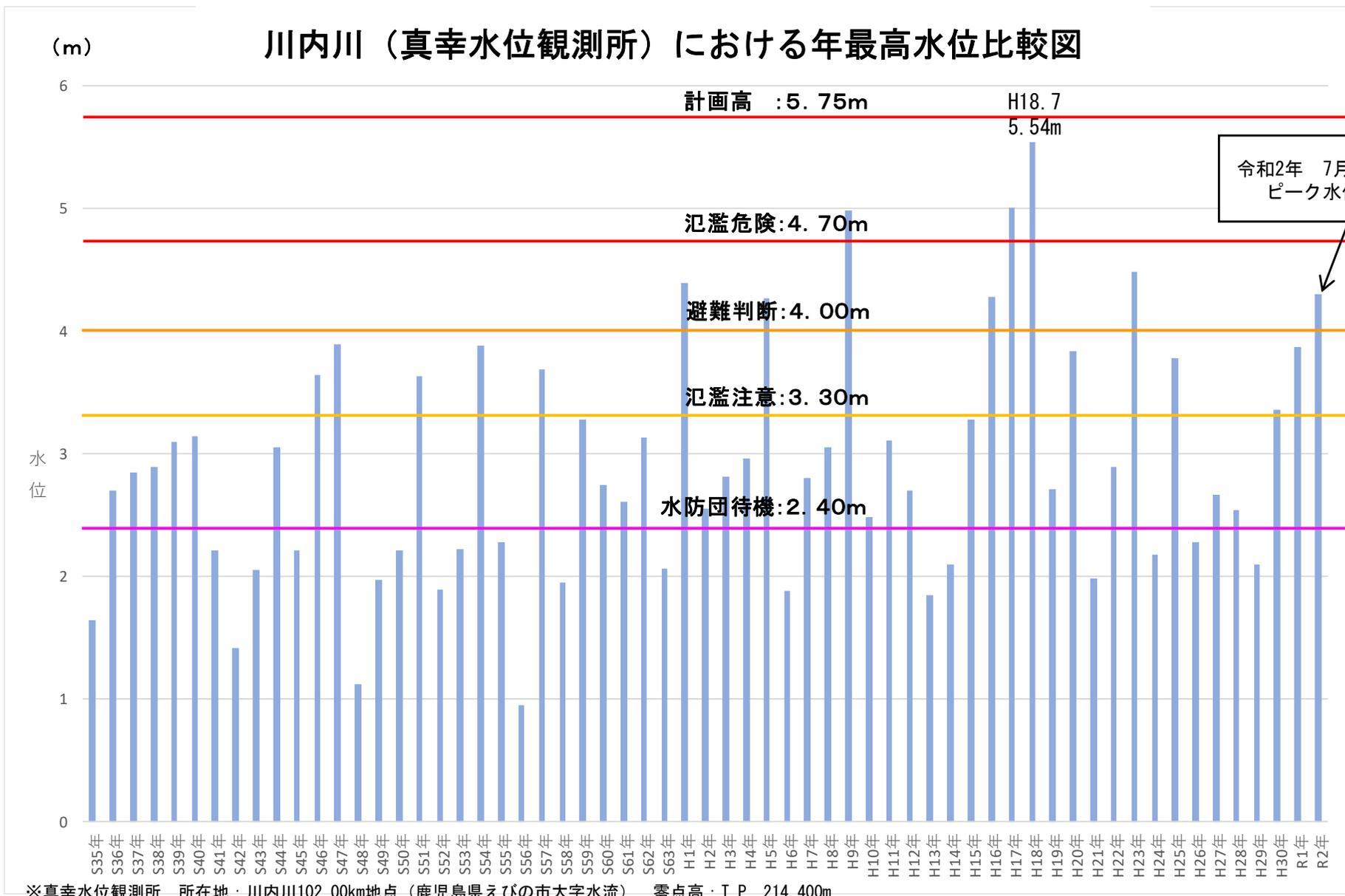
川内川水系川内川の吉松（よしまつ）水位観測所において、7月4日12時20分に6.99mを記録しました。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 2. 水位の概要（川内川（真幸水位観測所））

川内川水系川内川の真幸（まさき）水位観測所において、7月4日11時30分に4.30mを記録しました。

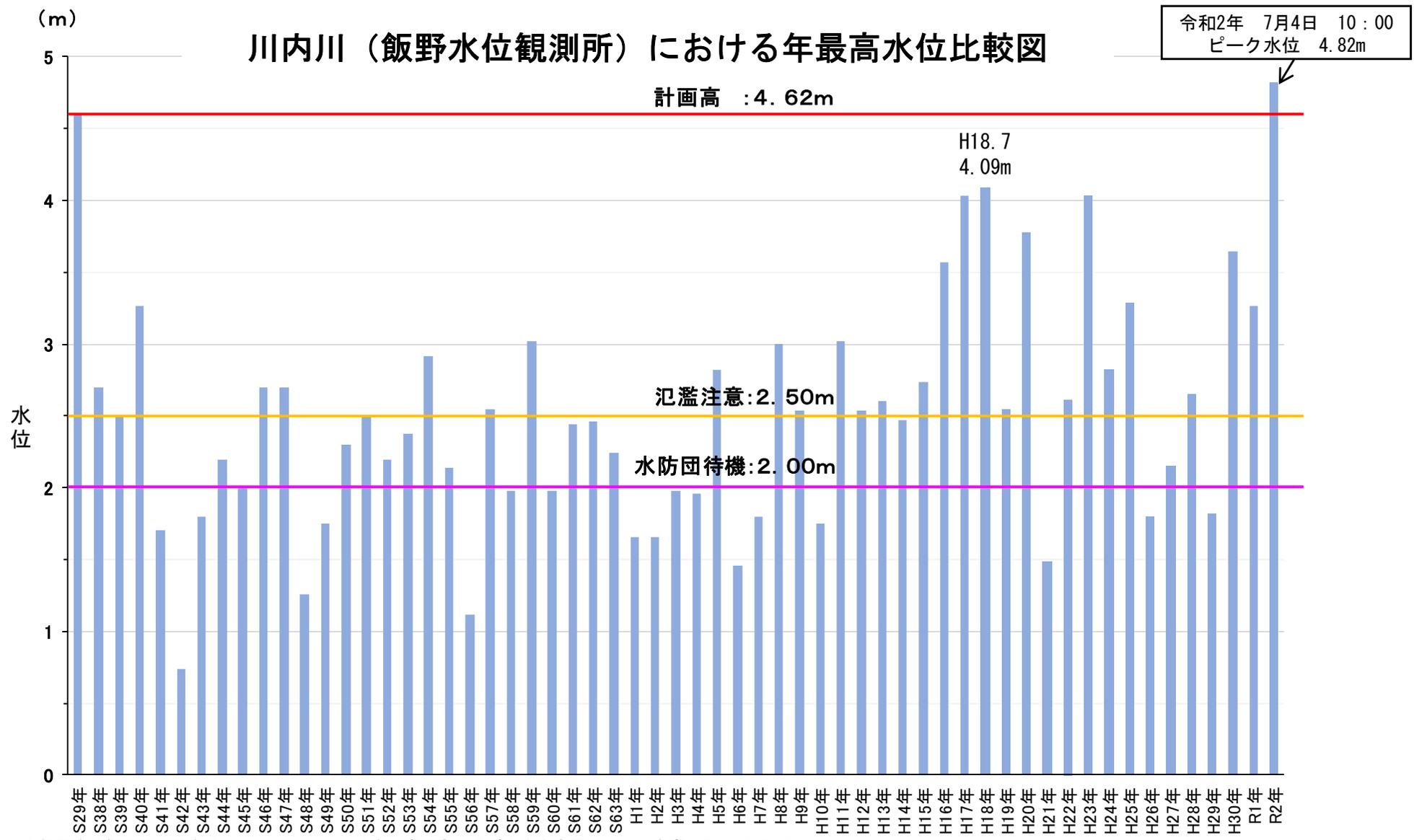


※真幸水位観測所 所在地：川内川102.00km地点（鹿児島県えびの市大字水流） 零点高：T.P. 214.400m

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 2. 水位の概要（川内川（飯野水位観測所））

川内川水系川内川の飯野（いの）水位観測所において、7月4日10時00分に観測記録上第1位水位（4.82m）を記録しました。



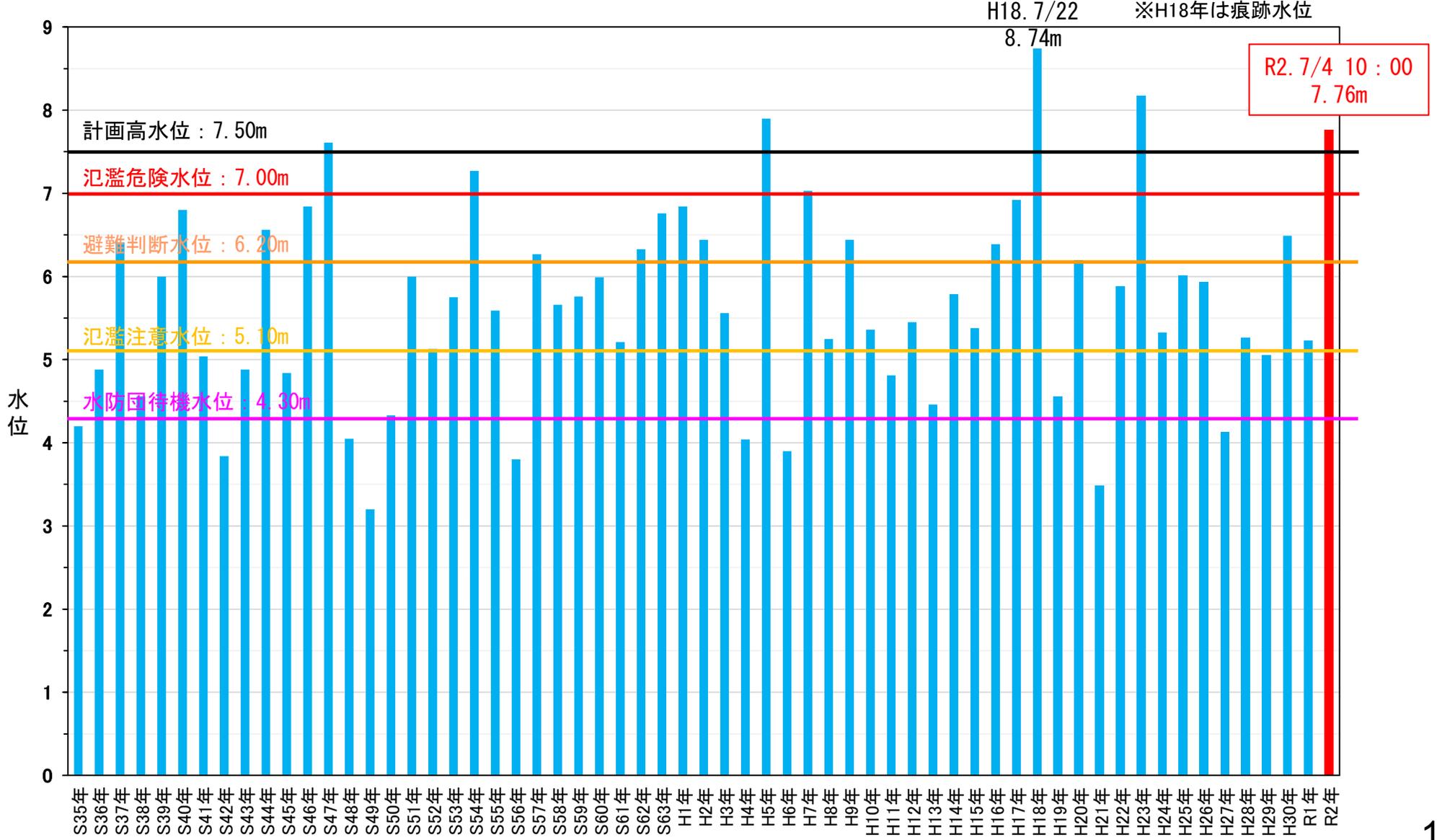
※飯野水位観測所 所在地：川内川116.04km地点（鹿児島県えびの市大字原田） 零点高：T.P. 245.800m

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

## 2. 水位の概要（羽月川（花北水位観測所））

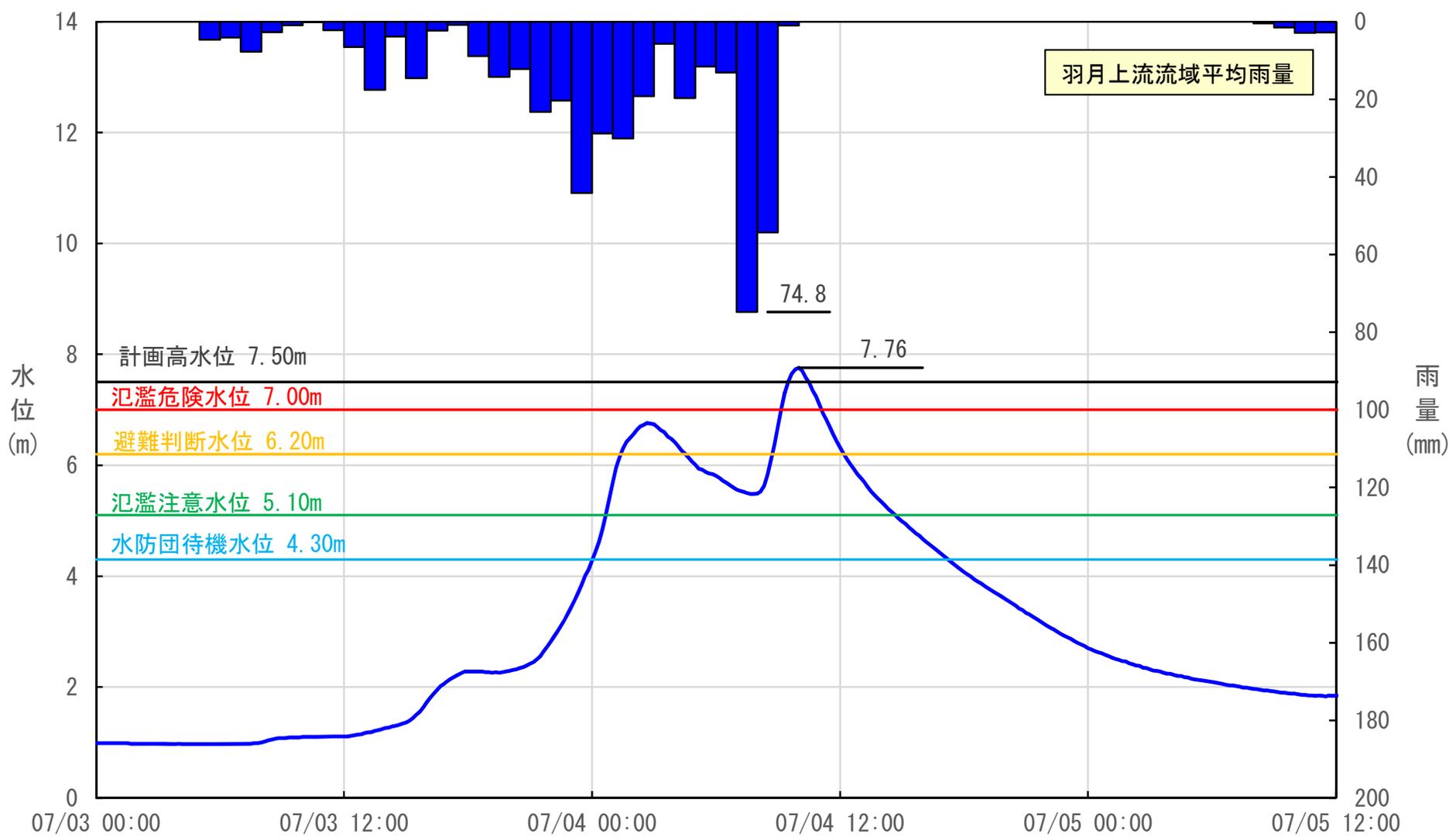
花北観測所の年最高水位をみると、今回出水の水位は平成18年、平成23年、平成5年に次ぐ観測史上第4位の水位となっている。

羽月川（花北水位観測所）における年最高水位比較図



## 2. 水位の概要（羽月川（花北水位観測所））

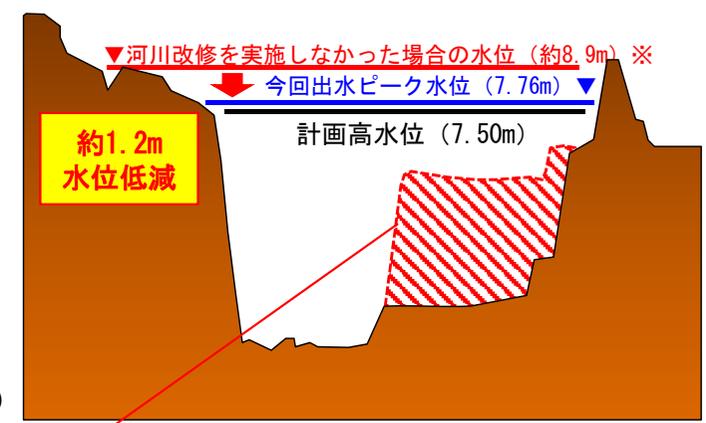
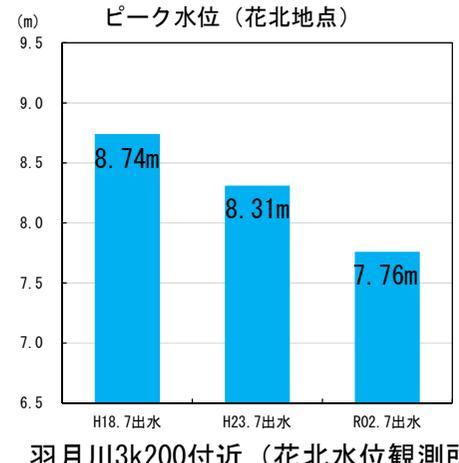
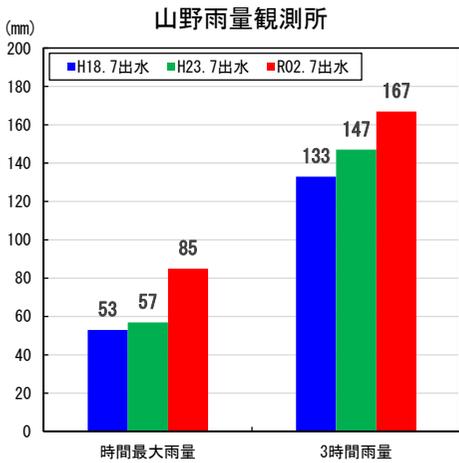
川内川水系羽月川の花北水位観測所では計画高水位（7.50m）を0.26m超過し、7月4日10：00にピーク水位7.76mを記録した。



### 3. 治水事業の効果（羽月川改修）

川内川支川羽月川沿いでは、H18.7洪水により浸水面積約180ha、浸水戸数70戸の被害が発生し、H23.7洪水では降雨量がH18.7洪水を上回ったが、激特事業の整備（築堤・河道掘削）により浸水被害の軽減が図られたところ。

今回、R2.7.4洪水では、山野観測所においてH18.7洪水、H23.7洪水を上回る雨量を観測したが、羽月川では、激特事業の整備後も、**防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策による河道掘削を進捗しており、H18以前の河川改修前と比較して、花北水位観測所地点で約1.2mの水位低減効果が図られたと推算。**



3か年緊急対策による河道掘削箇所（激特～R元年度末までに羽月川直轄区間で約46万m<sup>3</sup>掘削）

※H18年以前の河道断面を用いて今回出水流量時の水位を推算



河道掘削前（R1.9撮影）



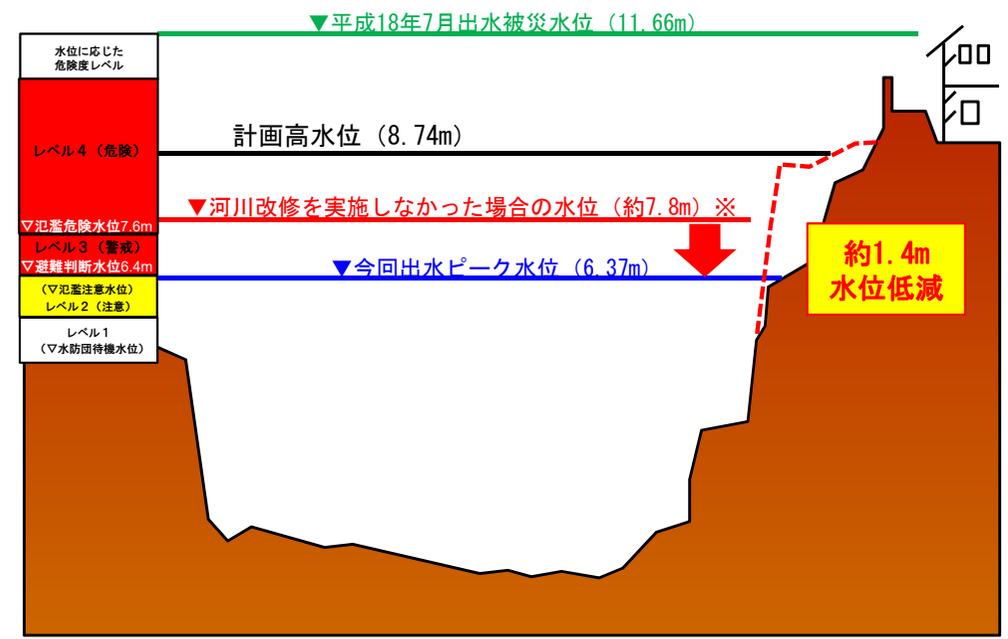
河道掘削中（R2.3撮影）

※H23.7洪水では、浸水面積0.1ha、浸水戸数1戸の被害が発生した。（激特事業の整備（築堤、河道掘削）により被害軽減が図られた）

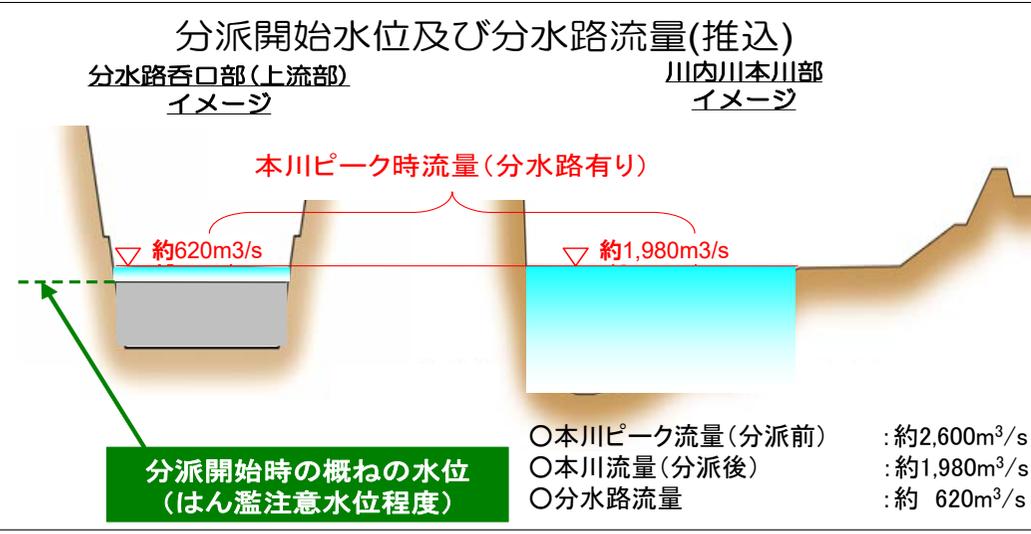
### 3. 治水事業の効果（虎居地区（激特事業効果））

平成18年7月出水により特に被害が大きかったさつま町虎居地区においては、激特事業により築堤及び河道掘削、推込分水路等を施工した。今回、R2.7.6洪水では、激特事業による河道掘削や推込分水路へ分流により、**H18以前の河川改修前と比較して、宮之城水位観測所地点で約1.4mの水位低減効果が図られたと推算。**

■ 宮之城観測所における水位低減効果



※H18年以前の河道断面を用いて今回出水流量時の水位を推算



# 4. 堤防等の被災状況（羽月川改修）

川内川支川羽月川において、R2.7.4～6洪水により外水氾濫は発生しなかったものの、計画高水位（HWL）を超過したことにより、河川堤防の損傷（川表法すべり、川裏法すべり）が発生し、高い水位が長時間続いた場合、堤防決壊のおそれがある。

そのため、今後も河道掘削等による更なる水位低減対策、及び堤防強化対策等を推進し、地域の安全・安心に努める必要がある。

